

網走工業が安全衛生大会 労災撲滅と健康の確保を

社員一丸で無事故・無災害達成



達成を誓い合った。

【網走発】網走工業(株)(網走、箕谷俊一社長)は十日、網走市内オホーツク文化交流センターで二十六年度安全衛生大会を開催した。同社職員ら約三十人が参加。交通安全や健康管理に関する講話を通して、社員一丸となって無事故・無災害の

はじめに箕谷社長があいさつし写真。去年から事業量が増えているが、人手不足、資機材不足など、様々な場面で不足という言葉が使われている状況にある」と指摘。「再雇用など猫の手も借りたい状況であり、若手の作業員もたくさん入ってきている。これに比例して、労働災害も増加している」と説明した。

また、「慣れではなく、身をもって勉強してもらいたい」と強調し、小さな事故は大きな事故の前ぶれであることから「小さな事故でも原因を深く掘り下げ、究明していかなければならない」と呼びかけた。

中山寿恵専務は「ことしは昨年よりも厳しい状況」とし、リスクアセスメントの活用やヒューマンエラー防止の徹底を求めた。続いて、網走警察署の山本秀則交通課長が「交通安全について」、網走市健康管理課の須藤敦美管理栄養士が「健康管理について」と題して講話した。

このあと、従業員を代表して山崎宏晃氏が労働安全決意宣言し、本年度の無事故・無災害を誓い合った。